月刊アグリ情報“ちば”　令和４年12月15日発行（毎月１回15日）　通巻第150号

アグリ情報ちば

2022 12 No.150

Agri Information CHIBA

JA全農ちば

画像はイメージ

文化放送㈱のラジオ番組「くにまる食堂」で県産農畜産物をPR

文化放送のスタジオとＪＡ全農ちば事務所をリモートで繋ぎました

私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。

CONTENTS

全農自己改革
- 直販機能強化による取扱拡大について

営農情報
- 令和４年度　水稲生産を振り返って
- 園芸野菜　病害虫防除情報
- 安全な農作物生産の取り組みについて
  ～農薬・肥料の保管方法～

園芸情報
- 販売経過および情勢

米穀・特産情報
- 米穀・特産情勢について

肥料情報
- 甘藷肥料のキーポイント

トピックス
- 令和４年度千葉県フェア 近畿地方において「秋冬の陣」開催！
- 千葉県産農畜産物を食べて応援
  職員がラジオ番組で生産現場の現状を伝える
- 農業用パイプハウス自力施工に係る研修会を開催！
  ～パイプハウスの災害対策を後押し～
- 「鳥獣害対策に関する基礎研修会」を開催

ハラペコさんに贈るいちばんレシピ
- ～野菜を食べて体の芯まで温まろう！～
  千切り野菜の豚しゃぶ

お知らせ
- 始まってます　みんながトクする　ＪＡでんき
- 千葉県産幸水果汁を使用した「千葉県産幸水サワー」発売！

月刊アグリ情報“ちば”令和４年12月15日発行（毎月１回15日）通巻第150号

食と農を未来へつなぐ

全農自己改革の取組状況
園　芸　事　業

直販機能強化による取扱拡大について

コロナ禍でスーパー・量販店の店頭における試食宣伝を伴う販売促進が制限される中、ＪＡ全農ちばはパートナー企業との連携による量販店等への対応の強化や中食・外食向けサプライヤー企業への加工・業務用野菜の安定供給と取扱拡大、加工品（カット野菜等）の取扱拡大に取り組んでいます。また、ＪＡタウンを中心としたＥコマース事業の拡充による取扱拡大に向けて取り組みを開始しています。

１．概　要

ＪＡ全農ちばは、令和２年３月にSNS（Instagram）を活用した千葉県産農畜産物のＰＲ活動を始めました。

Ｅコマース事業の拡充による取扱拡大を目指し、令和４年２月からSNSを活用した販売促進として、Instagramの生配信とＪＡタウンを連動させ、ＰＲ販売（ライブコマース）に取り組んでいます。

※Instagram：写真や動画などをメインに投稿できるSNSの一つです。

２．実施内容

⑴　松戸の完熟いちご（令和４年２月15日13時～）

ライブコマースの初回となったこの配信では、松戸でいちごを栽培されている生産者ご本人にも登場いただき、ＪＡ全農ちば職員が、栽培のこだわりや美味しい食べ方などを紹介しました。また、配信後には、ＪＡタウンを通じた視聴者プレゼントやキャンペーン価格での販売を実施し、１万件を超える応募を頂きました。

⑵　長生マスクメロン（令和４年６月27日17時～）

２回目は、ＪＡ長生の農産物直売所「ながいき市場」からのライブ配信を実施しました。直売所店長とスタッフの２名に登場いただき、メロンの網目の作り方や栽培の工夫などを紹介し、視聴者の方々から沢山の応援コメントやご質問を頂きました。配信の映像は、アーカイブ(録画)としてＪＡ全農ちばInstagramからも視聴可能です。

⑶　落花生（令和４年12月６日12時30分～）

３回目の配信では、落花生について生産から商品に至るまでを紹介しました。配信キャンペーンとして特別価格で用意した落花生詰め合わせセット10件も当日のうちに完売となりました。

３．今後の取り組み

ＪＡ全農ちばでは、今後も千葉県産農畜産物のＰＲと発信力強化を目的にSNSを活用した販売促進を実施していきます。また、Ｅコマース事業（ＪＡタウン）においても、品目の充実・販売力の強化に取り組んでまいります。

営農情報

令和４年度 水稲生産を振り返って

１．令和４年度産水稲　千葉県の作柄概況

農林水産省関東農政局の作柄概況（11月９日公表）によると、令和４年産の作柄は10ａあたり収量544kg（作況指数100）となりました。

県全体では、穂数は平年並みで、１穂あたりのもみ数がやや少ないことから、全もみ数は「やや少ない」結果となりました。登熟については、「やや良」が見込まれます。

表１．令和４年産水稲の作柄概況

区　分	平年比較				
	作況指数	穂数の多少	１穂あたりのもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
千　葉　県	100	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良

＊農林水産省関東農政局　農林水産統計より

２．時期別の振り返り

⑴　育　苗　期

３月は気温が概ね高く推移しました。気温上昇に伴って苗の生育が早まり、本田の準備（代かき作業等）に追われて育苗管理に手が回らなかったこと等により、苗が老化・徒長しやすい状況が続きました。

⑵　移植期から分げつ期

４月中下旬は最高気温が30℃近くまで上昇した日がある一方で、最低気温は５℃付近まで低下する日もあり、例年以上に寒暖差がみられました。また、ゴールデンウィーク以降の降雨・低温が例年より多くみられました。６月以降は日照も多く推移し、生育も回復傾向となりました。

⑶　幼穂形成期から出穂期

幼穂形成期から出穂期前にあたる７月中旬は日照が少なく、特に内湾の地域で顕著でした。

⑷　出穂後から成熟期

登熟期間中は台風の接近や降雨によって倒伏が発生し、登熟への影響が懸念されました。

収量は平年並みとなりましたが、登熟初期の高温障害とみられる「白未熟粒」の発生が多い傾向でした。

３．次作に向けて

⑴　品質対策について

登熟の向上をはかるため、稲ワラの腐熟促進と合わせ、土づくりを積極的に行いましょう。

高温障害には「農力アップ」等のケイ酸の補給が有効です。

⑵　低コスト対策に向けた取り組みについて

ＪＡ全農ちばは、県に対して肥料価格高騰対策事業の取り組みメニューのうち、組合員が実施しやすい具体的な内容の提案をしています。また、鶏ふん堆肥を利用した基肥の代替え技術の実証に取り組んでおり、成果については、『営農情報集』やホームページ、本誌『アグリ情報ちば』への掲載によって迅速に発信します。

営農情報

園芸野菜　病害虫防除情報

1．はじめに

気象庁の１か月予報によると、12月は平年並みの天候が続くと予想されています。病害虫の発生が平年よりも少なく推移している地域もみられますが、油断せず、徹底した防除を心がけましょう。また、施設栽培では温度および湿度の管理に注意しましょう。

2．トマト ― うどんこ病　引き続き施設での発生に要注意！

(1)　うどんこ病の特徴

トマトなどナス科作物のうどんこ病には、表生型と内生型の２種類があります。表生型は植物体の表面に寄生しますが、内生型は葉の内部にも病原菌が広がるため、防除がより困難になります。

葉のうどんこ病の病斑

(2)　薬剤防除　※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示しています

内生型は主に葉裏の気孔から侵入するため、**薬剤散布の際は葉裏まで薬剤がかかるように丁寧に行いましょう。**

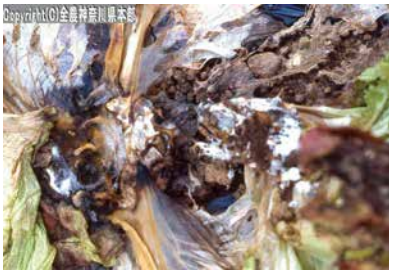
●トマト　うどんこ病　防除薬剤

FRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
M7	ベルクートフロアブル	2000	収穫前日まで	３回以内	予防
7	アフェットフロアブル	2000		３回以内	予防
9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000		２回以内	予防･治療
3+U6	パンチョ TF顆粒水和剤	2000		２回以内	予防･治療
50	プロパティフロアブル	3000		２回以内	予防･治療

3．レタス ― 灰色かび病・菌核病

(1)　灰色かび病の特徴

地際に**灰色のカビ**が発生し、のちに結球表面にも進展します。軟弱な葉の一部には**褐変**も見られます。乾燥しているときには被害はあまり見られませんが、曇雨天が続く場合には結球内部および表面に急激に被害が進展する病害です。



菌核病の被害株

(2)　菌核病の特徴

地際や葉の裏に**綿のような白いカビ**が発生します。湿度が高いとやがて結球表面にも**黒い菌核**が発生し、被害が進展すると結球が腐敗して枯れてしまいます。

(3)　薬剤防除　※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示しています

両病害とも冬期の霜や凍害で傷んだ下葉から発病するため、**薬剤散布の際はできるだけ株元にも薬剤がかかるようにしましょう。**

●レタス　灰色かび病・菌核病　防除薬剤

FRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
11	アミスター20フロアブル	2000	収穫７日前まで	４回以内	予防･治療
	メジャーフロアブル	2000	収穫３日前まで	３回以内	予防･治療
7+11	シグナムWDG	1500	収穫７日前まで	２回以内	予防･治療
1+10	ゲッター水和剤	1500	収穫７日前まで	２回以内	予防･治療
2	ロブラール水和剤	1000	収穫14日前まで	３回以内	予防･治療

営農情報

安全な農作物生産の取り組みについて ～農薬・肥料の保管方法～

1．農薬と肥料はきちんと保管しましょう！

農薬には毒物や劇物などの危険物があり、また肥料には発熱・発火・爆発する恐れのある肥料があります。**管理方法を誤ると重大な事故につながる資材**であることを改めて認識する必要があります。特に、盗難や紛失は大きなリスクを伴います。また、家族や従業員による農薬の誤飲・誤使用を無くすためにもきちんとした保管・管理を行いましょう。

2．農薬の保管方法

(1) **医薬用外毒物劇物の表示をしましょう！**
⇒事故の未然防止

(2) **施錠をしましょう！**
⇒農薬の盗難・紛失の防止

(3) **空容器への移し替えは避けましょう！**
⇒誤飲事故の防止
H28～Ｒ２年度の５年間で26件の誤飲誤食事故が発生しています（農林水産省調べ）

3．肥料の保管方法

(1) **野ざらしは避けましょう！**
⇒肥料の劣化・成分流出の防止
雨風や直射日光を避けるために屋根がある場所に保管、もしくはブルーシートなどをかけるのも有効です

(2) **直置きは避けましょう！**
⇒肥料の劣化防止
湿気による劣化や包装の傷みを防ぐため、肥料は土や床の上に直接置かず、パレットなどの上に置きましょう

4．在庫管理

農薬と肥料は購入数・使用数が分かるように在庫管理を行いましょう。栽培記録等で使用量の詳細が把握可能であれば、袋・ボトル数単位の管理から始めましょう。在庫管理をすることで、無用な追加購入を避けることができます。また、盗難・紛失等の事件・事故が発生した場合に、迅速に状況を把握することができ、さらに自身の使用状況を客観的に他者に伝えることができます。

記録例

資材A	8月1日	8月5日	8月27日	9月5日	9月19日	9月25日	10月8日	10月18日
入庫(kg)	80				90			
出庫(kg)		15	15	15		15	15	15
在庫(kg)	80	65	50	35	125	110	95	80

園芸情報　販売経過および情勢

青果物　11月の販売経過

11月は寒気の影響が弱く、全国的に気温はかなり高くなり、特に東日本では11月としては過去最高の気温となりました。また、高気圧に覆われやすかったため、特に西日本の日本海側で日照時間がかなり多くなりました。

11月の東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は、前年同月比で94％となりました。

前年に北海道で不作となり入荷量が少なかったばれいしょ類とたまねぎ等は、前年を上回る入荷量となったものの、作付けが減少したはくさい、前年が豊作基調となったさといも・きゅうりは前年を下回る入荷量となりました。

単価は、前年同月比で107％となりました。

入荷が少なかったはくさい、レタスの他、関東産で干ばつの影響が見られただいこんは前年を上回る単価となったものの、前年を上回る入荷となったばれいしょ類やたまねぎは前年を下回る単価となりました。

国産果実の入荷量は、前年同月比で101％となりました。

前年に霜害等の影響を受けて入荷量が少なかった柿、りんごは前年を上回る入荷量となったものの、天候の影響で生育が遅れていたいちごの「とちおとめ」、早生みかんは前年を下回る入荷量となりました。

単価は、前年同月比で94％となりました。

「とちおとめ」等は前年を上回る単価となりました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜入荷量および単価（11月）

	数量		単価	
	（t）	前年比（%）	（円／kg）	前年比（%）
上旬	39,548	100	249	111
中旬	37,710	85	228	107
下旬	38,271	98	209	100
月計	115,529	94	229	107

ＪＡ全農ちばの販売状況（11月）

	数量		単価		取扱額	
	（t）	前年比（%）	（円／kg）	前年比（%）	（百万円）	前年比（%）
野菜計	36,991	100	130	110	4,810	110
果実計	44	89	1,460	102	64	91
だいこん	11,018	97	68	127	747	122
にんじん	6,729	104	112	117	751	122
キャベツ	11,265	106	78	121	876	128
ほうれん草	127	105	321	100	40	105
ねぎ	853	133	283	117	242	155
春菊	89	95	526	107	47	102
レタス	224	111	200	132	45	146
パセリ	35	109	1,092	76	38	82
きゅうり	653	95	296	108	193	102
トマト	1,172	82	432	102	507	84
さつまいも	2,544	94	247	98	628	92
いちご	27	79	1,799	105	49	83

12月主要品目
作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	＋10%以上
やや多・やや高	＋５%～10%
並	±５%以内
やや少・やや安	－５%～10%
少・安	－10%以上

入荷量・価格は東京都中央卸売市場の集計です

品名	入荷量（t）		単価（円／kg）		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	13,995	やや高	56	愛知 千葉 茨城 神奈川	各産地の生育は概ね順調で、豊作基調なため潤沢な出荷が見込まれる。年末には引き合いが強まり、安値となった前年をやや上回るものの、厳しい販売環境が見込まれる。
だいこん	並	10,778	並	60	千葉 神奈川	千葉・神奈川ともに生育が順調で前年並みに多い出荷量を見込む。中旬までは厳しい販売が続き、下旬には引き合いが強まるが、単価は安値だった前年並みを見込む。
にんじん	並	8,567	やや高	103	千葉	台風等の大きな被害がなく、天候に恵まれ生育が順調で、出荷量は前年並みを見込む。単価は北海道・東北産の残量が多いものの、安値となった前年をやや上回る見込み。
トマト	やや多	4,478	やや安	452	熊本 愛知 栃木	西南暖地産や栃木は好天に恵まれて果実肥大が進み、生育は概ね順調。出荷量が少なかった前年に比べ、本年は潤沢な出荷が予想され、単価は前年をやや下回る見込み。
きゅうり	並	4,532	並	334	宮崎 千葉 高知	曇雨天の影響を受け、越冬作は不安定な出荷を見込むが月全体としては前年並みの出荷を見込む。年末にかけて引き合いは強まるものの単価は前年並みを見込む。
ねぎ	並	5,696	やや高	260	千葉 茨城	各産地とも台風等の被害はなく生育は順調で、前年並みの出荷を見込む。上旬の単価は出荷量が多く厳しい展開で年末に向け引き合いが強まり、前年をやや上回る見込み。
ほうれん草	並	1,485	並	457	群馬 茨城 埼玉 千葉	茨城等の転作で作付面積は微増。生育は好天に恵まれ順調。単価は年末需要の影響で上向くことが期待されるが、前年並みとなり平年よりやや安値を見込む。
パセリ	やや多	51	やや安	1,920	千葉 静岡	各産地の生育は概ね順調。出荷量は不作だった前年を上回り、厳しい販売となる見込み。下旬に向けて業務関係の引き合いは強まるが、単価は前年をやや下回る見込み。
春菊	並	313	並	873	千葉 栃木	各産地の生育は概ね順調で、潤沢な出荷となった前年並みの出荷を見込む。暖冬の影響で鍋物需要が低下し、販売苦戦した前年並みの単価を見込む。
レタス	多	1,665	やや安	124	静岡 茨城 兵庫	茨城の出荷量は減少するが、西南暖地産は生育前進で月前半は潤沢出荷で厳しい販売を見込む。後半は出荷が落ち着き引き合いは強まるが、月全体では前年をやや下回る単価を見込む。
さつまいも	やや多	3,532	並	283	千葉 茨城	各産地で掘り取りや収穫作業が終盤を迎え出荷増となっている。太物傾向から前年を上回る出荷量を見込む。また気温低下により需要が回復し、前年並みの単価となる見込み。
いちご	やや多	2,300	やや安	2,315	栃木	生育や定植の遅れが散見され、全国的に出荷は後ろ倒しとなり出荷量は前年を上回る見込み。下旬に向けて引き合いは強まるが、単価は前年をやや下回る見込み。

花　販売情勢

◆11月の販売経過【切花】

前年は全国的に天候に恵まれたため、前進出荷となる品目が多く、花き全般において安定した入荷となりました。本年については、月前半は西南暖地産の生育が昨年よりも遅れていたため少ない入荷となったものの、月後半は天候に恵まれたことから生育が進み、潤沢な入荷となりました。

販売は、イベントやブライダルの件数が比較的多かったものの、前月に比べて需要が落ち着いたためやや弱めの販売となりました。量販店・小売店においては行事等も少なく、また、10月までの単価高の影響から仕入れを控える店舗もあり荷動きが鈍いものとなりました。しかし、花き全般で入荷量が増加となった下旬においては単価安の厳しい販売となりました。

◆今後の見通し（１月）【切花】

全国的に天候被害等も少なく、概ね生育が順調な品目は多いものの、近年は寒波等の冷え込みから出荷が減少となる年も多くなりました。また、輸入品についても円安の影響から仕入れが少ない状況が続く見込みのため､不安定な入荷となることが懸念されます。販売については、中旬までは量販店・小売店や業務用における成人式需要の洋花や、東北地方の小正月需要における和花を中心とした動きとなりますが、下旬以降は、大きな行事等もないため、品目によっては厳しい販売が見込まれます。

◆今後の見通し（１月）【品目別】

品　名	作　柄　お　よ　び　概　況
ス　ト　ッ　ク	千葉・宮城･山形を中心とした出荷。 年内は東北産地で遅れが見られたものの、現在は各産地ともに生育が順調に推移しており年明け以降は安定した入荷となる見込み。 業務需要中心の販売。
カ　　ラ　　ー	千葉を中心とした出荷。 天候も良く、生育は順調に推移している。徐々に出荷品種も増加し、平年並みの入荷となる見込み。 ブライダル等業務需要中心の販売。
ア　イ　リ　ス	千葉・大阪を中心とした出荷。 各産地とも作付面積は減少傾向であり、平年を下回る入荷を見込む。 正月・仏花・稽古需要中心の販売。
カーネーション	宮城・千葉・愛知・長崎を中心とした出荷。 国産品は生育が順調で安定した入荷が見込まれ、輸入品については円安の影響により不安定な入荷が見込まれる。 業務需要中心の販売。
キ　ン　セ　ン　カ	千葉を中心とした出荷。 生育はやや前進しており、年明け分が年内に前倒し出荷となることが懸念され、平年を下回る入荷を見込む。 仏花需要中心の動き。

米穀・特産情報

米穀・特産情勢について

１．令和４年産米の農産物検査結果（速報値）について

（農林水産省　11月30日公表）

全国の10月31日現在の水稲うるち玄米の検査数量は、329万9,023トン（前年産同期比94％）、飼料用玄米は、45万7,206トン（前年産同期比132％）となっています。

また、千葉県の10月31日現在の水稲うるち玄米の検査数量は、13万9,891トン（前年同期比91％）、飼料用玄米は、５万8,937トン（前年産同期比128％）となっています。

主食用米から飼料用米への作付転換がすすんだことにより、飼料用米の検査数量が大きく増加しました。

【図表１】令和４年産米の農産物検査結果（速報値）

単位：トン

		令和４年産米 検査数量①	令和３年産米 検査数量②	前年産比 ①／②	前年産差 ①－②
全国	水稲うるち玄米	3,299,023	3,497,415	94%	△ 198,392
	飼料用玄米	457,206	346,124	132%	111,082
千葉県	水稲うるち玄米	139,891	153,770	91%	△ 13,879
	コシヒカリ	68,193	71,731	95%	△ 3,538
	ふさおとめ	18,610	23,403	80%	△ 4,793
	ふさこがね	36,286	42,008	86%	△ 5,722
	粒すけ	6,662	5,456	122%	1,206
	飼料用玄米	58,937	45,916	128%	13,021

２．令和４年産における作付転換について

令和４年産主食用米の作付面積は、125.1万haと前年差で約5.2万haの減少となりました。飼料用米への転換が2.6万haを占め、加工用米、ＷＣＳ用稲、麦、大豆が前年より増加しました。

また千葉県産主食用米については４万5,500haと前年差2,600haの減少、飼料用米は2,516ha増と備蓄米等からの転換も含めて主食用米からの転換分のほぼすべてを占めています。また、ＷＣＳ用稲と米粉用米が前年より増加しました。

【図表２】千葉県産主食用米及び戦略作物等の作付け（農林水産省）

単位：ha

	主食用米	備蓄米	戦略作物等							
			加工用米	新規需要米						
				飼料用米	WCS用稲	米粉用米	新市場開拓用米（輸出用米）	麦	大豆	その他（飼料作物、そば、なたね）
３年産	48,100	922	1,499	8,190	995	84	13	477	281	358
４年産	45,500	706	1,444	10,706	1,129	131	12	435	273	281
前年産	-2,600	-216	-55	+2,516	+134	+47	-1	-42	-8	-77

３．千葉県の令和５年産主食用米の生産目安の決定について

千葉県農業再生協議会は、11月22日に令和５年産主食用米の生産目安を令和４年産米と同じ25万1,207ｔに決定しました。千葉県の令和５年産米の生産目安については、令和４年10月20日に農林水産省より示された「米穀の需給および価格の安定に関する基本指針」の令和５年産主食用米等生産量669万ｔに対し、本県の需要実績シェアを乗じた値に、需要減などを背景とした民間在庫量の増加を考慮する検討が行われました。

千葉県においては、令和３・４年産で全国平均を上回る削減率を達成しているため、令和４年産と同数量の生産目安となりました。

改善に向かっている需給環境を定着させるため、令和５年産米の作付けにおいても引き続き飼料用米等への作付転換を維持することが必要です。

【図表３】５年度の作付予定面積

単位：ha

主食用米	備蓄米	加工用米	飼料用米	WCS用稲	米粉用米	新市場開拓用米（輸出用米）	麦	大豆	その他（飼料作物、そば、なたね）
46,177	706	1,464	10,000	1,159	151	16	540	585	400

※千葉県農業再生協議会（令和４年11月22日公表）の令和５年度千葉県水田収益力強化ビジョン(案)より抜粋

４．落花生出荷契約の全量出荷について

落花生の集荷は最盛期を迎えており、安定的な販売を図るためには集荷数量の確保が重要です。そのために出荷契約数量の全量出荷へのご協力をお願いします。

なお、出荷契約未締結の方の出荷も受け付けておりますので、最寄りのＪＡへご確認ください。

ＪＡグループへの出荷にご理解･ご協力をお願い申しあげます。

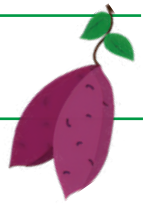
千葉県の特産品「落花生」を作付けしてみませんか？

検討されている方は、
ＪＡ全農ちばへお問い合わせください。

米穀部米穀特産事業企画課
TEL：043-245-7374

肥料情報

甘藷肥料のキーポイント

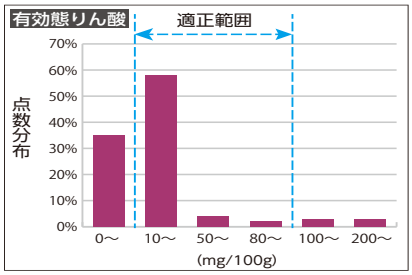


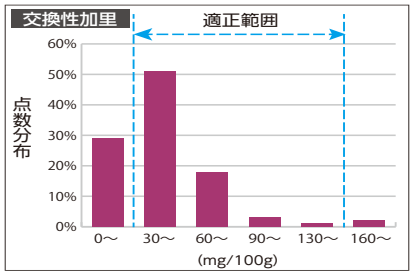
土壌の養分が不足していませんか？

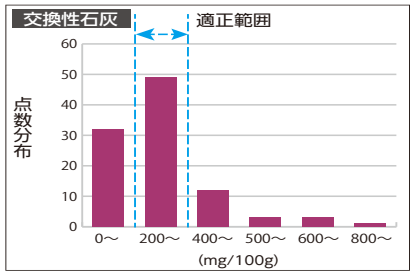
甘藷は**連作**することが多く、しかも吸肥力が強いため、土壌中の**肥沃度が低下**しやすい作物です。不足している成分は、**積極的に補って**いきましょう。

特に、**苦土**が不足傾向にあります。また、りん酸、加里も不足する恐れがあります。

2021年度　千葉県内甘藷作付土壌分析結果　834点　（JA全農ちば 営農技術センター）





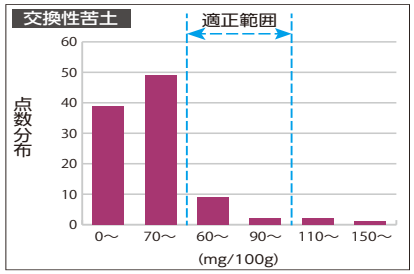


甘藷作りで大切なこと

その１．土壌診断の実施！
土壌診断に基づき、不足している成分を補いましょう。

その２．完熟堆肥の施用を！
窒素成分の少ない、完熟した堆肥を施用しましょう。

その３．有機質肥料を選ぶ！
速効性チッソと緩効性チッソをバランスよく含んだ有機質肥料を施用しましょう。
※窒素過剰やリンカリ不足によるつるぼけに注意しましょう。



千葉県甘藷施肥基準

	窒素	りん酸	加里
基肥	3～5	10	10
追肥	—	—	—

★とっておきの土壌改良材

銘柄名	主要成分	備　　考
リンスター	りん酸30%、苦土８%	りん酸の補給に
マルチサポート１号	苦土15%、微量要素	苦土と微量要素の補給に
オールアッシュPK455	りん酸14%、加里15%、苦土５%	りん酸、加里、苦土の補給に
畑のカルシウム	カルシウム28.5%	pHを変化させず、Ca吸収性も良好に
セルカ	アルカリ分　粉46%　粒47%	カキガラ原料の動物質石灰
レオグリーン特号	腐植酸、バーク堆肥、米ぬか	濃縮ペレット堆肥
アゾミン	苦土３%	腐植酸で根の活力アップ
ストロングバランス	アルカリ分35%、苦土12%、微量要素	カルシウムベースの総合微量要素資材

★充実の基肥ラインナップ

銘柄名	保証成分（%）			有機（%）	形状	備　　考
	N	P	K			
米ぬかイッパイ	2.5	7	3	約72	粒状	米ぬか同時施用による品質向上
有機アグレットS３００	3	10	10	約50	粒状	低コストタイプ
さつま配合４２０	4	12	10	約31	配合	甘藷配合肥料の定番
さつまオールスター４２８	4	12	8	約40	粒状	低コストタイプ
さつま姫	5	12	12	約48	粒状	甘藷化成肥料の定番
有機アグレットさつま名人	5	10	10	約47	粒状	硝酸態窒素･微量要素入り肥料
さつまペレット５２０N	5	12	10	約49	粒状	硝酸態窒素入り甘藷専用肥料
エコレット収穫まつり505	5	10	5	約47	粒状	微量要素･腐植酸･堆肥入り肥料

TOPICS

令和４年度千葉県フェア 近畿地方において「秋冬の陣」開催！

11月26日(土)、27日(日）の２日間にわたり、近畿地方の大型生鮮食品スーパー㈱万代において、千葉県フェア「秋冬の陣」を開催しました。コロナ禍で大田市場内での試食宣伝ができなくなったことと、昨年から近畿圏を新たな供給先に販路拡大を仕掛けた経緯によって、今回はＪＡ全農青果センター㈱協力の下、県との協賛による開催となりました。

大阪府を中心に㈱万代15店舗で開催し、多くの店舗で入口に近い目立つ場所に売り場を設け、千葉県産のだいこん、にんじん、キャベツ、ねぎ、さつまいも、レタスなど、この時期に千葉県の主力となる品目を陳列しました。さらに、生産者の顔写真が写ったミニサイズのＰＯＰで装飾するなどの工夫を凝らしました。

各ＪＡ（ＪＡきみつ、ＪＡ山武郡市、ＪＡ富里市、ＪＡかとり、ＪＡちばみどり）の代表者や県、(公社)千葉県園芸協会、ＪＡ全農青果センター㈱とともに代表店舗６店舗（八尾曙川店・八尾店など）を巡回し、売り場の状況把握と相互の情報共有をはかりました。

店内の陳列台は、関東の量販店と比べると低くなっているため商品が正面に映えるように見受けられました。さらに、商品の並べ方も高く積み上げており、お客さまにボリューム感を感じさせるような棚づくりの工夫が見られました。

店舗巡回終了後の意見交換会では、各ＪＡの代表者から工夫に富んだ売り場づくりに賛辞の声が聞かれるとともに「売り場を見て、ロットを確保することが“売り”に繋がることを強く感じた。今後、産地相互で連携して売り場を作ることに取り組んでいきたい」など、今後の産地連携の取り組みについて支持が得られました。

ＪＡ全農ちばは、秋冬野菜の本格化に併せ、今後も主力市場や産地の協力を得ながら販売促進を展開し、売り場確保と消費拡大に努めてまいります。

大阪府の㈱万代店舗に高く並べられた県産青果物

TOPICS

千葉県産農畜産物を食べて応援
職員がラジオ番組で生産現場の現状を伝える

ＪＡ全農ちばは、11月２、９、16、30日に文化放送㈱のラジオ番組「くにまる食堂」で生産資材や原料価格の高騰による生産者の生産現場の現状を消費者に伝えるとともに、千葉県産農畜産物の認知度向上と消費拡大を目指してＰＲしました。

●放送内容

放送日	内　容
11月２日	新米「粒すけ」
11月９日	房総ポーク
11月16日	落花生
11月30日	秋冬野菜

番組パーソナリティの野村邦丸さんとＪＡ全農ちば職員が対話（リモート）を行い、リスナーに県産農畜産物の魅力を伝えながら現在の生産者の現状についても理解していただけるよう語り掛けました。邦丸さんはリスナーへ共感を促し、各職員はリスナーへ「生産者への応援のためにも県産農畜産物をたくさん食べてほしい！」と消費拡大を願い、ＰＲを行いました。

TOPICS

農業用パイプハウス自力施工に係る研修会を開催！
～パイプハウスの災害対策を後押し～

ＪＡ全農ちばは、千葉県と共催で生産者やＪＡ、行政関係者を集め、11月29日（火）にＪＡ全農ちば営農技術センター（成田市）、12月５日(月)に千葉県立農業大学校（東金市）で、農業用パイプハウスの自力施工に係る研修会を開催しました。

この研修会はパイプハウスが被災した際、自力でパイプハウスを復旧し早期営農再開の一助となることを目的に開催したもので、パイプハウス施工に係る手法やポイントを学習しました。

研修に参加した37名（２日間計）は、地取り（測量）をはじめ、パイプの組み立てやフィルムの展張などの要所作業を実習し、施工のポイントを学習しました。参加者は写真や動画で記録しながら受講するなど、熱心に自力施工の習得に努めていました。

アーチパイプの取付作業をする参加者

ハウス施工に取り組んでいる様子

TOPICS「鳥獣害対策に関する基礎研修会」を開催

ＪＡ全農ちばは、県内ＪＡ職員の人材育成のため、千葉県農協Ａ.Ｔ.Ａ協議会と共催して県内ＪＡ営農担当者向けに各種研修会を開催しています。

そのひとつとして、12月６日(火）に富里市農林業センターにおいて基礎知識習得を目的として「鳥獣害対策に関する基礎研修会」を開催しました。

説明を受ける参加者

鳥獣害対策をすすめるには、生産者・ＪＡ・行政機関等、地域に根ざす各組織が連携することが重要となります。当日は地域における連携を実践している富里市・ＪＡ富里市および佐倉市から現状や対策経過、体制づくりの重要点について実例を交えながら説明していただきました。

電気柵設置実習の様子

地域の連携を生むことは一朝一夕では困難であり、いずれの事例紹介でも「被害や生息する鳥獣を把握し、それを課題として共有することから取り組むことが重要である」とお話がありました。

また、当該地域ではイノシシ・アライグマおよび鳥害が多いことから、具体策についても講習をいただいたほか、実習として鳥害対策資材の制作や実際に生産者圃場での設置支援を行っている市・ＪＡ担当者から電気柵や箱ワナの構造と設置のポイントについて解説をいただきました。

今後も、千葉県農協Ａ.Ｔ.Ａ協議会およびＪＡ全農ちばは、県内ＪＡ営農担当者の人材育成のため、各種研修会の開催に向けた取り組みを続けてまいります。

ハラペコさんに贈るいちばんレシピ

～野菜を食べて体の芯まで温まろう！～

千切り野菜の豚しゃぶ

房総ポークがオススメです!

材料（2～4人分）

- しゃぶしゃぶ用豚肉……300ｇ
- にんじん……１本
- レタス……１玉
- ねぎ……２本
- えのき……１袋
- だし汁……適量
- つけだれ……ポン酢やごまだれなどお好みで

作り方

❶にんじん、レタスは千切りにする。

❷ねぎは斜め薄切りに、えのきは根元を切り落とす。

❸鍋にだし汁を温め、①・②を入れて軽くひと煮たちさせ、豚肉を加えて火を通す。

❹好みのたれ（ポン酢やごまだれなど）につけて頂く。

※豚肉の他に牛肉やブリなどでもＯＫです。野菜はお好みのものを使ってＯＫです。

その他のＪＡ全農ちばオリジナルレシピはこちらからご覧いただけます。

ＪＡ全農ちば　ハラペコさんに贈るいちばんレシピ
https://www.zennoh.or.jp/cb/product/harapeko/ssi/

レシピページ

千葉県産幸水果汁を使用した「千葉県産幸水サワー」発売!

発売日 12月14日（水）

販売店 千葉県内のセブン-イレブン約1,150店

※店舗により取り扱いのない場合があります。

●商品特徴●

果汁には変形や傷などで出荷が難しい果実を使用し、幸水の甘みと酸味のバランスを活かした味わいに仕上がっております。
ぜひこの機会にお買い求めください。

千葉県産幸水サワー 350㎖

JA全農インターネット通販

JAタウン
JA全農ちば 愛情いちばん館

千葉県産農畜産物のご贈答・お取り寄せなら
https://www.ja-town.com/shop/c/c3401/

＼ほんの一例です／
主な取扱商品

ＪＡタウン“ＪＡ全農ちば 愛情いちばん館”では、産地自慢の「ちばの味」を全国へ産地直送でお届けしています。
贈り物やご自宅用に是非ご利用ください。

JA山武郡市 べにはるか　５kg

「ねっとり」とした甘さが特徴の「べにはるか」！ 地元の直売所では焼き芋として販売され、多くのお客様から好評を頂いております。焼き芋にスイートポテトに！「ねっとり」甘い山武郡市のべにはるかをこの機会に是非お召し上がりください！

小櫃の自然薯

栄養価が高く「山のうなぎ」と呼ばれる自然薯！
小櫃の自然薯組合の方々が丹精込めて作りました！お歳暮商品等に是非ご検討ください！

シクラメン

おまかせシクラメンです★ ご注文を頂いた際に、良い物を生産者が選別し、お届けします！
（赤系・ピンク系・紫系・フリンジ系のいずれかとなります。）

矢切ねぎ

煮ても焼いても食感がしっかりと感じられることから、矢切ねぎは「焼いてよし、鍋によし」と言われています。是非お試しください！

成田のほし芋 甘芋ん（あま～いもん）（180g×5袋）

手作り干し芋♪短時間調理でもおいしくなる、成田市産のさつまいも「クイックスイート」使用！

お問い合わせ
全国農業協同組合連合会　千葉県本部　園芸部　園芸直販課
TEL 043－245－2911
ご注文は、愛情いちばん館HPからお願いいたします。

愛情いちばん館HP

お知らせ

ＪＡ全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。
身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る個人情報の取り扱いについて

組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

JA全農が提供するラジオ番組

Tokyo fm 80.0

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN
13:00～13:55 毎週土 生放送
全国の農畜産物をプレゼントします。

15:50～16:00 毎週木
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

23:00～23:06 毎週木
農業について一緒に楽しく学びましょう。

JA全農ちば 公式HP
JA全農ちば 公式Instagram

発行／全国農業協同組合連合会千葉県本部　令和４年12月15日発行（毎月１回15日発行）　通巻第150号
編集・発行部署／管理部　企画広報課　〒260-0031　千葉市中央区新千葉３－２－６　電話043－245－7360　FAX043－247－9715